

地下タンク  
地下埋設配管

# 定期点検結果報告書

		令和 年 月 日	
殿		住所 氏名	
設置者	住所 氏名		
製造所の別・区別	貯蔵所	少量危険物取扱所	
許可年月日・番号	年 月 日	第 号	
設置場所	静岡県御殿場市ぐみ沢658-4		
点検実施タンク数	1本	タンク実施数	1本
点検実施日	令和 5年 4月 10日		
点検実施 責任者	住所 氏名	静岡県静岡市駿河区中村町346-1 サガミシード株式会社	
点検方法	加圧法		
異常の有無	異常なし		
点検立合者			
その他必要事項			
※受付欄		※経過欄	

- 備考
- 1 該当事項には、○印で囲むこと。
  - 2 点検の結果、異常が確認された場合は、該当箇所を明示した図面を添付し、改善方法等を明記すること。
  - 3 ※印の欄は、記入しない事。

地下タンク等定期点検実施結果報告書

御殿場市陸上競技場

様

令和 5 年 4 月 13 日

点検実施事業者

認定番号

地(2)22024号

所在地

静岡県静岡市駿河区中村町346-1

名称

サガミシード株式会社

電話番号

054-280-0066

地下タンク、地下埋設配管の漏れの点検を実施し、異常の有無を確認しましたので、次のとおり報告いたします。

危険物施設	事業所名	御殿場市陸上競技場			
	所在地	静岡県御殿場市ぐみ沢658-4			
	施設区分	製造所、○地下タンク貯蔵所、屋外タンク貯蔵所、屋内タンク貯蔵所、給油取扱所、一般取扱所、少量危険物貯蔵取扱所			
点検実施者	許可年月日・番号	責任者： 矢田部 真樹	鈴木 一弥		
	講習修証番号	地第 16243 号	地第 16659 号	地第 号	
	危険物取扱者免状	乙種第4類第00119号	乙種第4類第00014号	種第 類第 号	
点検実施年月	令和 5 年 4 月 10 日 (天候 晴れ)				
点検対象設備	地下タンク容量 (品目)		点検実施設備		
	① ストレート	970 L (灯油)	○タンク○注入管○吸引管○通気管・送油管○戻り管・検知層		
	②	L ( )	・タンク・注入管・吸引管・通気管・送油管・戻り管・検知層		
	③	L ( )	・タンク・注入管・吸引管・通気管・送油管・戻り管・検知層		
	④	L ( )	・タンク・注入管・吸引管・通気管・送油管・戻り管・検知層		
⑤	L ( )	・タンク・注入管・吸引管・通気管・送油管・戻り管・検知層			
点検方法	試験の別 (試験圧力)	加圧 (20 kPa) 減圧 ( kPa) 微加圧 ( kPa) 微減圧 ( kPa) その他の方法 ( )			
	測定時間	①30分(41分)			
判定基準	別紙のとおり		計測データ	別添えのとおり	
点検結果	① タンク圧力変動値	② タンク圧力変動値	③ タンク圧力変動値	④ タンク圧力変動値	⑤ タンク圧力変動値
	0.20 kPa 1.0 % G値 T値 異常なし	kPa % G値 T値	kPa % G値 T値	kPa % G値 T値	kPa % G値 T値
	タンク液相部 ( )	タンク液相部 ( )	タンク液相部 ( )	タンク液相部 ( )	タンク液相部 ( )
	配管圧力変動値 0.20 kPa 1.0 % P値 T値 異常なし	配管圧力変動値 kPa % P値 T値	配管圧力変動値 kPa % P値 T値	配管圧力変動値 kPa % P値 T値	配管圧力変動値 kPa % P値 T値
	SFタンク・FFタンクの検知層圧力変動値 %	SFタンク・FFタンクの検知層圧力変動値 %	SFタンク・FFタンクの検知層圧力変動値 %	SFタンク・FFタンクの検知層圧力変動値 %	SFタンク・FFタンクの検知層圧力変動値 %
その他の方法 ( )	その他の方法	その他の方法 ( )	その他の方法 ( )	その他の方法 ( )	
点検済証番号貼付位置	前回	J-162005 通気管	前回		前回
	今回	K-201293 通気管	今回		今回
立会者等	危険物取扱者免状・ 種第 類第 号 ・ 無 氏名				

点 検 時 調 査 項 目

	①タンク	②タンク	③タンク	④タンク	⑤タンク
地下タンク諸元	タンク埋設時期 年 月 日 タンク種類 設置方法 <u> A </u> タンク外面保護 <u> B </u> 電気防食 ( <u> 無 </u> )	タンク埋設時期 年 月 日 タンク種類 設置方法 タンク外面保護 電気防食 ( )	タンク埋設時期 年 月 日 タンク種類 設置方法 タンク外面保護 電気防食 ( )	タンク埋設時期 年 月 日 タンク種類 設置方法 タンク外面保護 電気防食 ( )	タンク埋設時期 年 月 日 タンク種類 設置方法 タンク外面保護 電気防食 ( )
配管諸元	配管の埋設時期 年 月 日 配管材料 <u> A </u> 外面保護 <u> G </u> 配管口径 注入管 ( <u> 65 </u> A) 吸引管 ( <u> 25 </u> A) 送油管 ( <u> 25 </u> A)	配管の埋設時期 年 月 日 配管材料 外面保護 配管口径 注入管 ( A) 吸引管 ( A) 送油管 ( A)	配管の埋設時期 年 月 日 配管材料 外面保護 配管口径 注入管 ( A) 吸引管 ( A) 送油管 ( A)	配管の埋設時期 年 月 日 配管材料 外面保護 配管口径 注入管 ( A) 吸引管 ( A) 送油管 ( A)	配管の埋設時期 年 月 日 配管材料 外面保護 配管口径 注入管 ( A) 吸引管 ( A) 送油管 ( A)
漏えい検査管	漏えい検査管による確認 漏油 ( <u> 無 </u> ) 地下水位の高さ <u> 970 </u> mm	漏えい検査管による確認 漏油 ( ) 地下水位の高さ mm	漏えい検査管による確認 漏油 ( ) 地下水位の高さ mm	漏えい検査管による確認 漏油 ( ) 地下水位の高さ mm	漏えい検査管による確認 漏油 ( ) 地下水位の高さ mm
タンク内状況	気相部 <u> 900 </u> mm 液面の高さ <u> 0 </u> mm 残油量 <u> 0 </u> L タンク内部の水の高さ <u> 0 </u> mm	気相部 mm 液面の高さ mm 残油量 L タンク内部の水の高さ mm	気相部 mm 液面の高さ mm 残油量 L タンク内部の水の高さ mm	気相部 mm 液面の高さ mm 残油量 L タンク内部の水の高さ mm	気相部 mm 液面の高さ mm 残油量 L タンク内部の水の高さ mm
前回点検実施 2022 年 4 月 21 日					
地下タンク・配管諸元の表示方法(記号により記入してください。)					
地下タンク諸元	1 タンク種類 2 設置方法 3 タンク外面保護	A・鋼製一重殻 B・SF二重殻 C・FF二重殻 D・SS二重殻 A・タンク室 B・直接埋設 C・漏れ防止 A・タンク外面さびどめ塗装 B・外面さびどめ塗装+アスファルトプライマー+モルタル C・外面さびどめ塗装+アスファルト D・外面プライマー塗装+表面覆装材+タールエポキシ樹脂 E・外面プライマー塗装+表面強化プラスチック(FRP) F・その他( ) G・なし H・不明			
配管諸元	1 配管材料 2 外面保護	A・鋼製 B・FRP C・合成樹脂 D・その他( ) A・アスファルト塗覆装 B・コールドールエナメル塗覆装 C・ポリエチレンコーティング D・タールエポキシ樹脂 E・ナイロン樹脂 F・電気防食 G・防食なし H・その他( )			
備考欄					

- 備考
- 1 点検実施設備欄中タンクと同時に試験実施した配管には○印、別に実施した配管、検知層には□印をつけること。
  - 2 調査項目については、点検実施時に判明した範囲で記入すること。
  - 3 異常ありの場合は備考欄に点検で判明した事項を記入すること
  - 4 タンク液相部及びその他の方法で点検を実施した場合には判定基準を添付すること。
  - 5 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。



判定基準

加圧法	ガス加圧	タンク配管	20kPa又は試験圧力（地下水が存する場合にあっては、地下水圧を加えた値）に加圧後、15分間の静置時間において、その後15分間（容量10kℓを超える地下貯蔵タンクにあっては、当該容量を10kℓで割った値を15分間に乗じた時間）の圧力降下が試験圧力の2%以下であること。
		S F タンクの検知層	20kPaに加圧後、15分間の静置時間において、その後15分間の圧力降下が試験圧力の10%以下であること。
	液体加圧	タンク配管	20kPaに加圧後、15分間の静置時間において、その後15分間（容量10kℓを超える地下貯蔵タンクにあっては、当該容量を10kℓで割った値を15分間に乗じた時間）の圧力降下が試験圧力の2%以下であること。
微加圧法	タンク配管	2kPaに加圧後、15分間の静置時間において、その後15分間（容量10kℓを超える地下貯蔵タンクにあっては、当該容量を10kℓで割った値を15分間に乗じた時間）の圧力降下が試験圧力の2%以下であること。	
微減圧法	タンク配管	2kPa以上10kPa以下の範囲で減圧し、減圧後15分間の静置時間において、その後15分間（容量10kℓを超える地下貯蔵タンクにあっては、当該容量を10kℓで割った値を15分間に乗じた時間）の圧力上昇が試験圧力の2%以下であること。（常温で蒸気圧の高い危険物の場合にあっては、当該蒸気圧に応じて補正を加えた値 下表参照）	
減圧法	S F タンクの検知層	20kPaに減圧後、15分間の静置時間において、その後30分間（容量50kℓを超える地下貯蔵タンクにあっては、当該容量を50kℓで割った値に1を加えた値を15分間に乗じた時間）の圧力の上昇が試験圧力の10%以下であること。	
	F F タンクの検知層	20kPaに減圧後、15分間の静置時間において、その後105分間（容量50kℓを超える地下貯蔵タンクにあっては、当該容量を50kℓで割った値に1を減じた値を75分間に乗じた値に105分間を加えた時間）の圧力の上昇が試験圧力の10%以下であること。	

<微減圧試験における蒸気圧補正を加えた実施方法>

G値・T値・P値の測定値が下の判定表に示す判定値以内であること。

- ① G値・T値・P値の測定値は、測定した圧力を5分ごとにプロットして作成された試験経過図から求められる値である。
- ② 減圧値は、概ね2kPa、4kPa、10kPaのいずれかであること。
- ③ 測定時間は、タンク容量に応じて30分以上と60分以上の2種類とする。

判定表

試験対象設備	20kℓ未満のタンク			20kℓ以上～100kℓ未満			地下配管					
	減圧値 (kPa)	2	4	10	2	4	10	2	4	10		
測定時間(分)	30以上			30以上			30以上					
液温 (°C)	0～30			0～30			0～30					
ガソリン	判定	G	0.95未満	1.10未満	2.90未満	0.95未満	1.10未満	2.90未満	P	0.04未満	0.08未満	0.20未満
		G	0.95～1.00	1.10～1.20	2.90～3.10	0.95～1.00	1.10～1.20	2.90～3.10	P	0.04～0.08	0.08～0.16	0.20～0.40
		T	0.04以下	0.08以下	0.20以下	0.04以下	0.08以下	0.20以下	T	0.04以下	0.08以下	0.10以下
溶剤類	地	G	0.45未満	0.55未満	1.40未満	0.45未満	0.55未満	1.40未満	P	0.04未満	0.08未満	0.20未満
		G	0.45～0.50	0.55～0.60	1.40～1.60	0.45～0.50	0.55～0.60	1.40～1.60	T	0.04～0.08	0.08～0.16	0.20～0.40
		T	0.04以下	0.08以下	0.20以下	0.04以下	0.08以下	0.20以下	P	0.02以下	0.04以下	0.010以下

G値…… 0分後と30(60)分後の圧力差

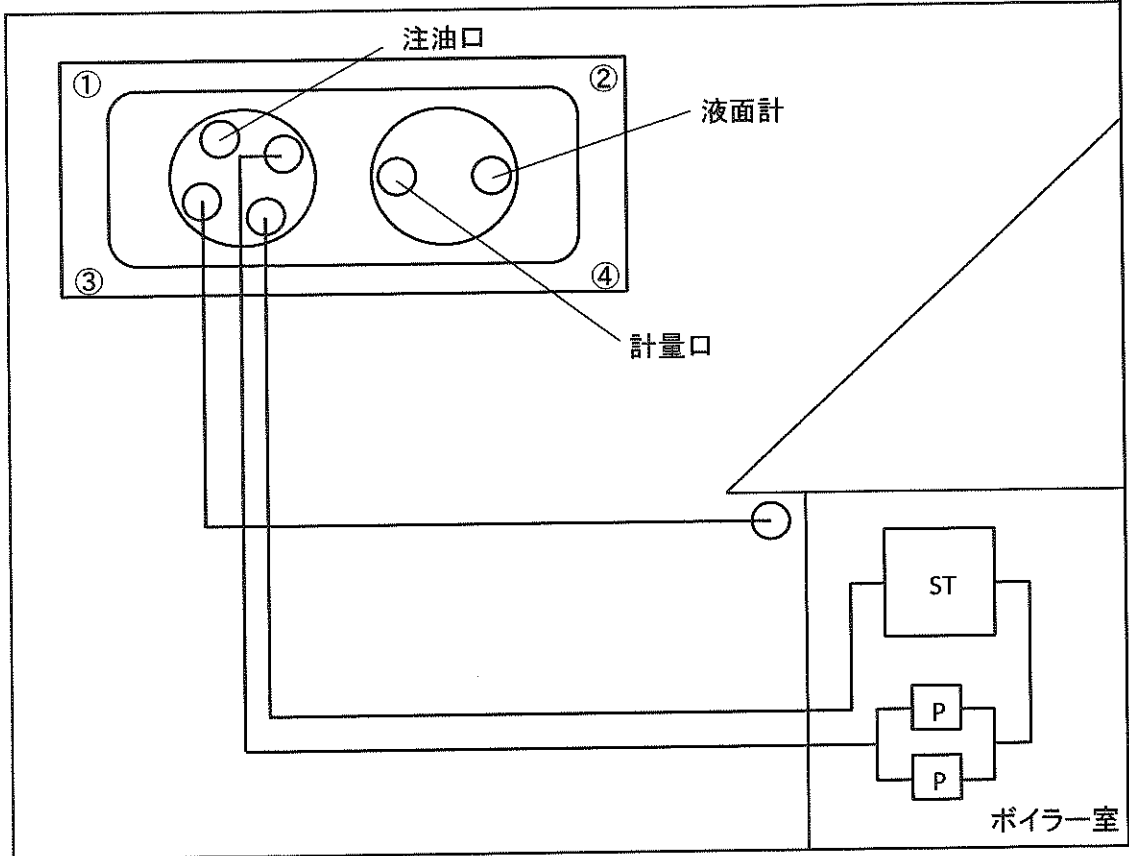
T値……30(60)分後と40(70)分後の圧力差

P値……10(30)分後と30(60)分後の圧力差

注1；所定の減圧値に達した時点を出発点(0分)とする。

注2；( )内の時間は、20kℓ以上のタンクの場合とする。

定期点検施設			
御殿場市陸上競技場		令和 5 年 4 月 10 日	
気相部	20	°C	液相部
			°C



検知管No.	深さ (mm)	ガス濃度 (%)	漏油有無	地下水位 (B)
1	1,680 mm	0 %	無	700 mm
2	1,680 mm	0 %	無	720 mm
3	1,660 mm	0 %	無	640 mm
4	1,700 mm	0 %	無	680 mm
5	mm	%		mm
6	mm	%		mm
7	mm	%		mm
8	mm	%		mm
9	mm	%		mm
10	mm	%		mm
11	mm	%		mm
12	mm	%		mm
13	mm	%		mm
14	mm	%		mm
15	mm	%		mm
16	mm	%		mm
17				

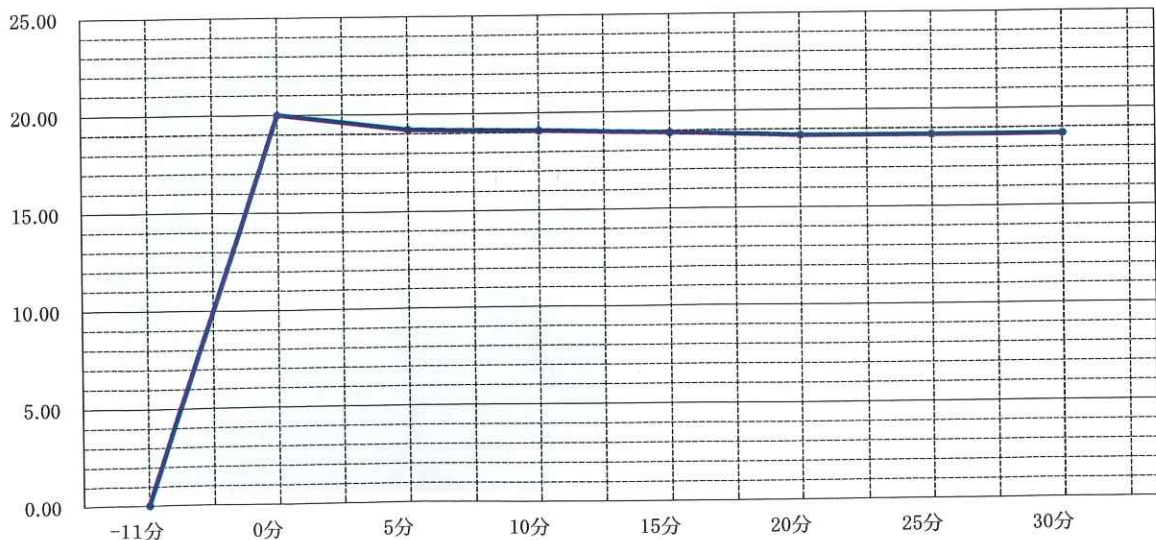
タンク気相部検査結果				
御殿場市陸上競技場			令和 5 年 4 月 10 日	
タンクNo.	1	油 種	#REF!	容 量 970 L

全体試験結果		安定時間
経過時間	データ (kPa)	
0分	20.00	安定時間
5分	19.20	
10分	19.10	
15分	18.90	
20分	18.70	
25分	18.70	
30分	18.70	
35分		
40分		
45分		
50分		
55分		
60分		
65分		
70分		
75分		
80分		
85分		
90分		

地下タンクデータ			
形式		ストレート	
内 径			mm
胴 長			mm
板 厚			mm
残油量	検査前	0	L
	検査後	0	L
	変動量	0	L
気相部比率		100.0	%
検水	検査前	0	L
	検査後	0	L
	変動量	0	L
温度	気相 検査前	20.0	°C
	気相 検査後	20.0	°C
	液相 検査前	0.0	°C
	液相 検査後	0.0	°C

計測時間	15 分
10KL以下 15分	
10KLを超えるもの 容量/10KL×15分	
変動値	0.20 kPa
圧力降下	1.0 %
圧力降下	異常なし

圧力降下2%以下 異常無し







検査写真

御殿場市陸上競技場

令和 5 年 4 月 10 日



検知管検査

深さ

ガス濃度

漏油の有無

地下水位



地下タンク内部検査

残油量

油面の高さ

地下タンク内部の水の高さ

地下水位

気相部温度

液相部温度



気相部及び埋設配管検査

加圧法

タンクリークテスター設置



検査写真

御殿場市陸上競技場

令和 5 年 4 月 10 日



通気管より加圧・測定



計量口、治具にて閉鎖



注油口、治具にて閉鎖

検査写真

御殿場市陸上競技場

令和 5 年 4 月 10 日



サービスタンク



戻り管、バルブにて閉鎖



タンク循環清掃  
作業前

検査写真

御殿場市陸上競技場

令和 5 年 4 月 10 日



機械全体図



注油口より抜取り



計量口へ返油



検査写真

御殿場市陸上競技場

令和 5 年 4 月 10 日



清掃後

若干の汚れを確認



清掃後

若干の汚れを確認



清掃後

